

さいご
最後まで、
ねばり^{つよ}強く がんばろう！

「もう、やめた！」そう言うと、
ティミーは 自転車^{じてんしゃ}から 降り^お、ムツと
しながら ベンチの お父さん^{とう}の となりに
すわりました。「ちっとも スピードが
で
出ないんだ！」

ティミーは、お兄ちゃん^{にい}の アレックスが
自転車^{じてんしゃ}で 公園中^{こうえんじゆう}を ビュンビュン
走るのを見ていました。ティミーが
自転車^{じてんしゃ}に 乗れるようになったのは、
ほんの 1週間前^{しゅうかんまえ}です。とてもじゃないけど、
お兄ちゃんには ついていけません。ずっと、
お兄ちゃん^{にい}と 一緒に^{いっしょ}に 自転車^{じてんしゃ}で
走りたい^{はし}と 思っていたのに、アレックスは
ティミーが 追いつくのを 待^まってくれません。

お父さん^{とう}は ティミーの かたに うでを
まわ
回して、ティミーを だきしめました。

「アレックスも、初めて^{はじ} 自転車^{じてんしゃ}に
乗れるようになった時^{とき}、今^{いま}のおまえと
まっ
全く 同じことを 言^いったんだよ。」



ほんとう
「本当？」

ほんとう なに じょうず
「本当さ！ 何かが上手になる

ためには、コツコツと、ねばり強く

まな 学んでいくしかないんだ。それには、

しゅうかんいじょう 1週間以上かかることもある。

おまえが好きなコンピューター

ゲームみたいにな。かんたん レベルだけ

やっいていちゃあ、かい 海ぞくのかくれ家には

たどり着かないだろう？ ゴールまで

行くには、もっとむずかしいレベルも

マスターしなくちゃいけない。

そのためには、れんしゅう ひつよう じてんしゃ
練習が必要だ。自転車に

の 乗るのも、よ 読むことをまな 学ぶのも、

なん じょうず 何でも上手になるためには、れんしゅう
練習が

ひつよう 必要なんだ。なに まな 何かを学ぶには、まずは

どりよく ひつよう 必要なだけ れんしゅう
努力。必要なだけ練習もする。そして

さいご 最後までねばり強く がんばり続ければ、

みかえ その見返りにあずかれるというわけさ。」



「アレックスみたいに、速く走れる
ようになれるとか？」

「そうだね。もしかしたら、もっと
速くなるかもしれないぞ！」

満面笑顔で お父さんが 言いました。

「おまえが 乗っている そばで、
お父さんが いっしょに 走ろうか？」

ティミーは ニコッと 笑うと、
大またで 自転車に 向かっていきました。

むずかしいことがある 時、あなたは
どうしますか？ あきらめては いけません！
最後まで がんばり通せば 何が 得られるか、
考えてみましょう。その スキルを
マスターすれば、どんなに うれしく
思うでしょうか？ だれでも、何かが
得意になる 前は 初心者だということ、
わすれないで きましょう。

文：アリーヤ・スミス 絵：アルビ デザイン：ステファン・ミラー
出版：マイ・ワンダー・スタジオ
Copyright © 2016年、ファミリー・インターナショナル
“Keep Persevering!”--Japanese
関連の読み物はこちら ⇒ [ねばり強さ](#)

